

スイカ食べすぎ要注意号

ブル通信

2507

日本で最も不運な男の物語

これは今年の5月のゴールデンウィークの話である。登場人物は実在しますが、私は関係ない事にしておいてください。

家に籠っていたのであるがあまりにも暇である。テレビなどを見ていると海外旅行に行く人で空港がごった返しているとか、新幹線の乗車率が〇%だとかそんな報道が相次ぐが普通の庶民は海外旅行に行くような金はないし、また帰省するような実家というものもないし、正月に衝動買いで買ってしまったエポック社の野球盤をやっていたのだが野球盤で丸々1日過ごすことは無理で、暇だあ暇だあ、といいながら昼間からビールを飲み、ドラドラと無為な時間を過ごしていたのであるが今年のゴールデンウィークの休みは結構な日数があり、いかん、このままビールと野球盤でゴールデン

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
査定
見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

ウィークを過ごしてはいかんと、どこかに行くことを決意したのであった。

さてどこに行こうかと色々検索して見ると比較的近い近隣の他県で風揚げ合戦とかいうものが行われるらしい。なんだ？その風揚げ合戦というのは？と調べてみると大きな風を各町内会ごとで上げて、風と風を絡ませて風のロープを切りあって落としあうという合戦のようである。例年、昼間の風揚げ合戦と夜の市内の練り歩きで見物客も含めると80万人の人数がありなかなか盛況なようである。当然ながら風揚げ会場に車で行くことはできず主要駅からシャトルバスが出ていてそれで行くようである。そうだ！これだ。明日はこれに行こうと決めてエポック社野球盤を箱に戻し、ゴールデンウィーク中は再び開けることがないようにに封印をして納戸にしまったワシであったのである。

色々調べてみるとシャトルバスが発着する主要駅付近は駐車場も高いうえにかなり混みあうことがわかったので主要駅から駅離れた駅に駐車していく

ことに決めたのであった。

さて風揚げ合戦の当日、朝早く家を出て駐車予定の駅を目指したのであった。着いてみると5駅も離れているのに法被を着た人がかなりたくさんいてなかなかの賑わいである。早速電車に乗り主要駅に向かったのであるがシャトルバス乗り場はかなりの行列、しかしながらバスが次から次へと来るので40分くらいでバスに乗れて風揚げ会場に到着。おお！壮観である。かなりの数の風が上がっているのである。各町内が進軍ラッパを吹き本当の合戦のような雰囲気である。ロープを切られてすごい勢いで落下してくる風もある。風と言ってもその大きさは高さで3メートルくらい。引つ張る紐も紐ではなく完全にロープ。骨組みは竹竿である。これが上空でロープとロープを絡めあってロープを切りあうのである。まあこれだけ広い会場なら切られた風が落ちてきても人に当たる心配はかなり少ないのである。確かに人出もかなりあるが近くに落ちた風が寄りかかってくるとかはあるだろうか？直撃というのは考えにくい。そのため風揚げ会場からシャトルバス乗り場に行く通路以外に芝生の風揚げ会場の中にも一般の人も入れるようになっていた。

2時間くらい見ていただろうか！シャトルバスも混みそうなのでそろそろ帰るか？とシャトルバス乗り場に向かう舗装路を歩いていたら時である。ふっと一瞬何か赤い色のものが目に入った瞬間である。気が付いたら吹っ飛ばされてワシは倒れていたのである。手か

らは結構な出血、何が起きたかわからなかったが周りの町内会の人がおーい当たったぞうと言いあたりが騒然となったのである。どうも落ちてきた風の直撃を喰らったようである。救護班、救護班という声が聞こえ、救護室に運び込まれたのであった。幸いにも右手の2か所のざっくり傷と吹っ飛ばされたとき、路面に頭を強打して出来たタンコブ程度で済んだもののおまわりさんに状況説明を聞かれたがわかるわけがない。ただ町内会のトップの人が救護室まで来てくれて何かあったらいいけないから問題あればすぐに連絡して下さいと携帯番号を書いていってくれてなかなか親切な対応であったのだ。

見ていた人の話によると切れてまっすぐ落ちてきた風が地表付近で地表の抵抗を受けやや横向きになりそれがワシを直撃したようである。それにしてもワシとか何かの懸賞とかには全く当たったことのないワシがなぜ風に当たらなければならぬのか？

日本で最も不運な男の物語であったのである。

これはどうも家でエポック社の野球盤をやっていた方がよかったのかもしれないという男の話であった。

風の写真はこちらから↓

